

～「努力のメダル」を目指して～



子ども達たちの笑顔と元気な挨拶で前期後半がスタートしました。今年はパリオリンピックが開催され、メダルを目指して熱い戦いが行われました。中でも、今年は若い選手の活躍が目立ちました。

競技後のインタビューでは、心に残る言葉が聞かれました。例えば…

○四十住さくら 選手 (スケートボード女子パーク

東京オリンピック金メダリスト)

「決勝に行きたいけど、他人の失敗は祈りたくない。」

○岡 慎之助 選手 (体操個人総合金メダリスト)

「目標がちゃんとあれば、諦めることってないと思う。」

○橋本 大輔 選手 (東京オリンピック体操男子個人総合金メダリスト) ※岡選手の金メダル獲得を

受けて「新しい歴史を見られて、僕は幸せです。」

○堀込 雄斗 選手 (スケートボード男子ストリート金メダリスト)

「少しの可能性、1%の可能性を最後まで信じた。」

また、バドミントン銀メダリストの「へ・ビンジャオ」

選手は、怪我で途中棄権したスペインの選手の健闘を称え、スペインのピンバッジをもって表彰台に立ちました。どの選手もメダルを取るために大変な努力をしてきたからこそ、お互いを認め、称え合うことができるのだと思います。前期終了まで約1か月。子ども達には「これだけは負けない」という目標をもち、努力の金メダルを目指して欲しいと伝えました。目標に向かって努力すると、うまくいかなかった時の悔しさや、続けることの難しさを学びます。その中で心が成長し、友達に優しくすることができるのではないのでしょうか。そんな子ども達を今日からまた保護者、地域の皆様と一緒に応援し、支援していきたいと思います。引き続きご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校長